



キャンプ用テントの SG 基準 (公開用)
SG Standard for Camping Tent

通商産業大臣承認 5 産第 2785 号・平成 6 年 1 月 27 日
一般財団法人製品安全協会改正 2021 年 6 月 1 日

キャンプ用テントの SG 基準

SG Standard for Camping Tent

1. 基準の目的

この基準は、キャンプ用テントの安全性品質及び使用者が誤った使用をしないための必要事項を定め、一般消費者の生命または身体に対する危害の発生の防止を図ることを目的とする。

2. 適用範囲

この基準は、キャンプ用テント（以下「<テント>」という。）の安全性、品質及び使用に関する要求事項を示すものである。なお、この基準では、登山用、トイレ用、集会用テント、キャラバンオーニング（Caravan awning）等の特殊な使用目的のものは除く。

3. 形式分類

テントの形式は、次のとおりとする

R形（Type R：residential tent）：就寝を含む居住を目的としたテントであり、積雪には耐えないが、春から秋までなどの長期間の設営に適したテント。

T形（Type T：touring tent）：就寝を含む居住を目的としたテントであり、繰り返し設営・撤収する使用に適したテント。

S形（Type S：sleeping tent）：主として就寝を目的とするテントをいう。以下の2クラスに分類される。

標準質量テント（Class st：Standard weight tents）；2.5kgを超える質量のテント。

軽量テント（Class 1：Light weight tents）；2.5kg以下の質量のテント。

4. 用語の定義

・基礎区域（Base area）：アウトテントのウォールが地面と触れる位置で囲まれる総区域をいう。ただし、泥よけ部は含まれない。

・使用可能区域（Usable area）

居住区域（Living area）：基礎平面内の、就寝を含まない居住のために設計された区域をいう（T形及びR形）。

就寝区域（Sleeping area）：基礎平面内の就寝のために設計された区域をいう。

・収容人員（Capacity）：テント設計上の収容できる大人の人数をいう。

5. 安全性品質

テントの安全性品質は、次のとおりとする。

項目	基準	基準確認方法		
1. 構造、外観および寸法	<p>1. テントの構造、外観及び寸法は、次のとおりとする。</p> <p>(1) 収容人員一人当たりの就寝部の寸法は、表 1 に示される寸法以上であること。</p>			
表 1. 一人当たりの就寝部の寸法 (単位 : cm)				
		R 形	T 形	S 形
長さ	〇〇	〇〇	〇〇	
幅	〇〇	〇〇	〇〇	
測定高さ	〇〇			
	<p>(2) 就寝区域の高さは、以下のとおりであること。</p> <p>(a) R 形にあっては、就寝区域の〇〇%の高さが〇〇cm以上であること。</p> <p>(b) S 形にあっては、1～2 人用はテント内に最低〇人が、3～4 人用のものでは最低〇人が座れる大きさであること。</p>			

項目	基準	基準確認方法
	<p>(3) 就寝区域は、側端部の高さが〇〇cm以上のます形のグラウンドシートにより構成されること。</p> <p>(4) グラウンドシートは、各コーナに裾止め部を有すること。ただし、インナテントに幅〇〇cm以上の出入口を有する場合は、直接接地面との固定が可能な方法等の付加的な措置を講じること。</p> <p>(5) R形にあっては、泥よけの幅が〇〇cm以上であり、コーナ部や縫い目部は重ね合わされていること。</p> <p>(6) R形にあっては、泥よけ部の地面への固定は</p>	

項目	基準	基準確認方法
	<p>〇〇cm以下の間隔で可能であること。なお、幅〇〇cm以下の出入口部はこの限りでない。</p> <p>(7) T形又はR形にあつては、各フレームに組立時に誤った組合せが生じない措置が講じられ、確実に連結されること。</p> <p>(8) 換気構造を有すること。</p> <p>(9) T形又はR形にあつては、最低限屋根位置の各コーナに張り網を取り付けられる構造であること。なお、R形は、窓の高さにも〇〇cm間隔（出入口部は除く。）で張り網を取り付けられる構造であること。</p> <p>(10) スライドファスナは、最低一つの出入口には下から開けることができるものを使用し、かつ周囲とは異なった色彩を用いるなどしてスライダー部が目につきやすい措置を講じること。</p> <p>(11) テントに適した装備品</p>	

項目	基準	基準確認方法
2. 強度及び性能	<p>を有すること。</p> <p>2. テントの強度及び性能は、以下のとおりであること。</p> <p>(1) T形及びR形のフレームは、曲げ試験を行ったとき、座屈、著しい変形等がないこと。</p> <p>(2) 裾止め部の引張強度は、R形で〇〇N以上、T形及びS形で〇〇N以上であること。</p> <p>(3) 雨水の侵入に対する抵抗試験を行ったとき、アウトテントの屋根部がインナテントに接触せず、テント内に漏水のないこと。</p>	

項目	基準	基準確認方法

項目	基準	基準確認方法
	<p>(4) スライドファスナは、JISS 3015（スライドファスナ）に規定されるもの、又はこれと同等以上の品質を有するものであること。</p> <p>3. テントの生地部の強度及び性能は、以下のとおりであること。</p> <p>(1) 生地 of 引張り強さは、表5に示す値以上であること。</p>	

表5. 生地 of 引張り強さ

		R形	T形	S形	
				標準質量 テント	軽量テント
屋根部	皮膜処理有	○ON	○ON	○ON	○ON
	皮膜処理無	○ON	○ON		
ウォール又は アウトテント	皮膜処理有	○ON	○ON		
	皮膜処理無	○ON	○ON		
インナテント		○ON			

項目	基準	基準確認方法
	(2) 生地 of 引裂強さは、表6に示す値以上であること。	

表 6. 生地 of 引裂強さ

		R 形	T 形	S 形	
				標準質量 テント	軽量テ ント
屋根部、ウ ォール又は アウトテン ト	皮膜処理有	〇〇N	〇〇N	〇〇N	〇〇N
	皮膜処理無	〇〇N	〇〇N	〇〇N	〇〇N

(3) 生地 of 耐水圧は、表7に示す値以上であること。

表 7. 生地 of 耐水性

	R 形	T 形	S 形	
			標準質量テント	軽量テント
屋根部、ウォール 又はアウトテ ントなど外表面側 の生地	〇〇kPa (〇〇 mmH20)	〇〇kPa (〇〇 mmH20)	〇〇kPa (〇〇 mmH20)	〇〇kPa (〇〇 mmH20)
グランドシート	〇〇kPa (〇〇 mmH20)	〇〇kPa (〇〇 mmH20)	〇〇kPa (〇〇 mmH20)	〇 〇 kPa (〇〇 mmH20)

項目	基準	基準確認方法
4. 材質	<p>4) テント用生地の接合・縫合部の引張強度は、表5に示される値の1/2以上であること。なお、異なった部位どうしの接合・縫合部は引張強さが低い方の値とする。</p> <p>4. 耐食性材料以外の金属製材料は、防せい処理が施されていること。</p>	

6. 表示及び取扱説明書

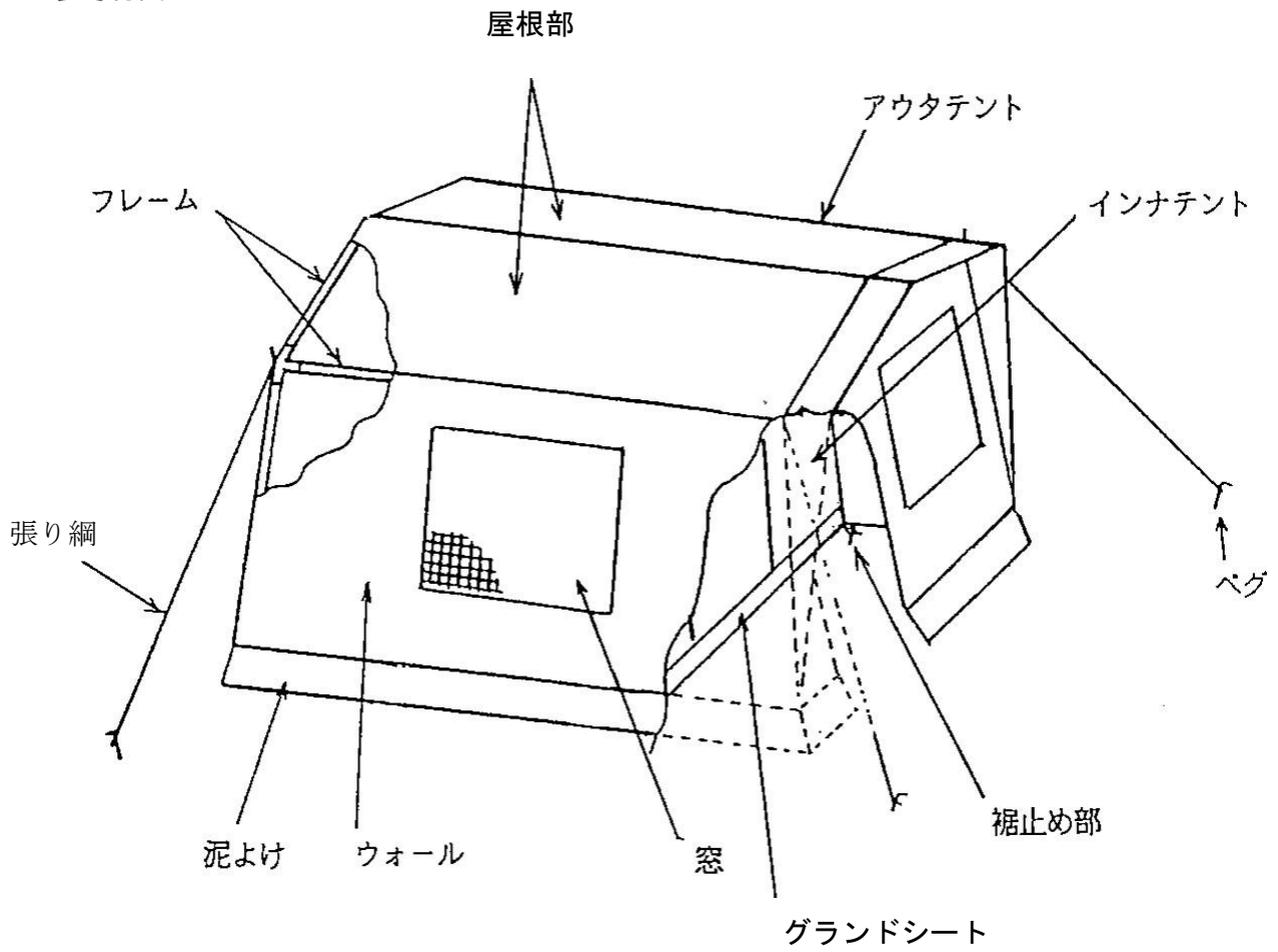
テントの表示及び取扱説明書は、以下のとおりであること。

項目	基準	基準確認方法
1. 表示	<p>1. テントには、以下に示す趣旨の表示を容易に消えない方法で表示すること。</p> <p>(4) については、テント内の見やすく読みやすい位置に表示し、全体の大きさが○cm×○cm、表題文字の高さは他の文字の○倍以上であること。また、表題文字の色は赤であり、他の文字は白地に黒であること。</p> <p>(1) 製造、販売又は輸入事業者の名称、又はその略号</p> <p>(2) 製造又は輸入年月、若しくはその略号</p> <p>(3) 基本仕様（付属品参照）</p> <p>(4) 火気取扱いに関する注意事項 ・キャンプの安全のために以下に従ってく</p>	

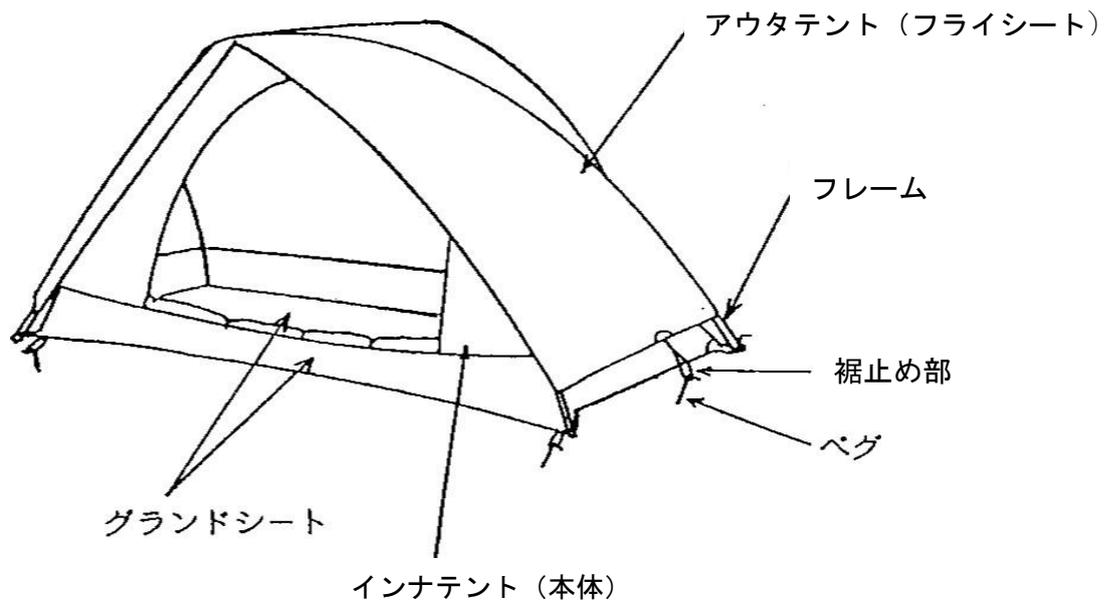
項 目	基 準	基 準 確 認 方 法
2. 取扱説明書	<p>ださい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テントのウォール、屋根及びカーテンの近くで加熱調理、照明の点灯、暖房器具の使用は避けること。 ・各加熱・照明器具は、常時取扱説明書どおりに使用すること。 ・照明の近くで子供を遊ばせないこと。 ・設営場所の消火設備を確かめておくこと。 <p>2. テントには、以下の項目を網羅した取扱説明書を添付すること。</p> <p>なお、この取扱説明書は、初めてテントを購入する人にも理解できるように記載し、イラストや図面を併用すること。</p> <p>(1) 設営の練習を行ってから、使用すること。</p> <p>(2) 設営場所の選択</p> <ul style="list-style-type: none"> －地面のタイプ －風向き －低気圧を避けること。 <p>(3) 設営/撤収</p> <ul style="list-style-type: none"> －フレーム類の表示の解説 －設営及び撤収の手順 －張り網の張り方 <p>(4) 収納</p> <ul style="list-style-type: none"> －折り畳み形状 －濡れたテントの収納 －フレーム及び本体の分割 <p>(5) 保全/修理</p>	

項 目	基 準	基 準 確 認 方 法
	<p>一清掃、わずかな移動を伴う場合</p> <p>(6) 個々のケースでの対応</p> <ul style="list-style-type: none"> 一雪 一砂地 一暴風 一他の特殊な環境 <p>(7) 製造業者、輸入事業者又は販売業者の 名称、住所及び電話番号</p>	

参考付図



(1) T形 例図



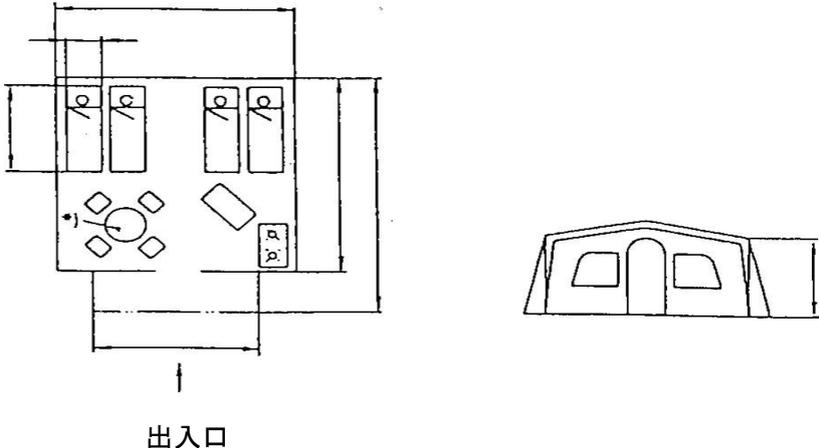
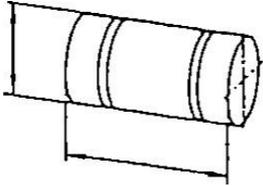
(2) S形 例図

テントの表示

1. T形及びR形のテント

詳細なイラストを用いるなどして、形状及び材料の仕様を明示する。

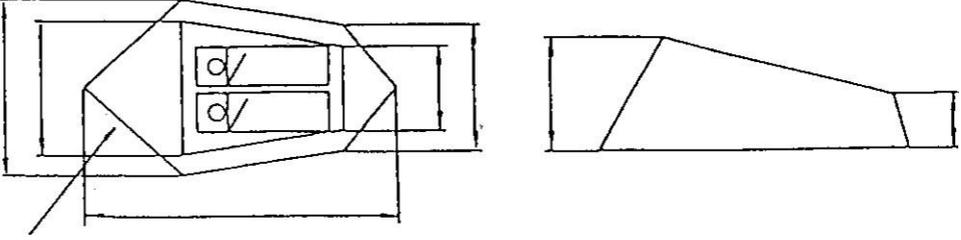
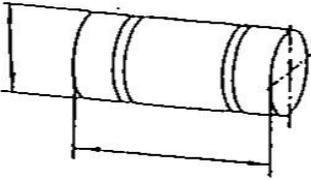
表 1. T形及びR形のテントの仕様表示例

CPSA 0100 に基づく T形 (又は R形) テント			
<p>アウト/インナテントの主要寸法、テーブル等を配置したリビングエリア、就寝位置</p>	 <p style="text-align: center;">↑ 出入口</p>		
<p>収納寸法 収納質量</p>		<p>・・・kg</p>	<p>収納は全部で____個</p>
<p>材料** アウトテント インナテント</p>	<p>皮膜処理のあるナイロン 綿 100 %</p>		
<p>製造/輸入業者</p>			
<p>*: テーブル (例)</p>		<p>** : CPSA 0100 に基づく生地性能である。</p>	

2. S形のテント

詳細なイラストを用いるなどして、形状及び材料の仕様を明示する。

表2. S形のテントの仕様表示例

CPSA 0100 に基づく S 形テント（標準質量テント及び軽量テント）			
<p>アウト／イン ナテントの主 要寸法、就寝 位置</p>			
<p>収納寸法 収納質量</p>		<p>・・・kg</p>	<p>収納は全部で__個</p>
<p>材料** アウトテント インナテント</p>	<p>皮膜処理のあるナイロン 綿 100 %</p>		
<p>製造／輸入業者</p>			

*: CPSA 0100 に基づく生地性能である。

3. テントの質量表示

下表例は、S形の標準質量テントで2人用の場合であり、質量が3.4kgとなることを示す。質量の制限もこの表を用いて同時に示すことができる。

